



哲多中学校だより

新見市立哲多中学校
令和3年6月11日
文責 西村

めんどう 「面倒だから、しよう」

「面倒だから、しよう」…故・渡辺和子氏（元ノートルダム清心学園理事長）の著書名です。面倒くさがり屋の自分に言い聞かせている言葉をタイトルにしたという渡辺氏。本の序盤、大学での学生の何気ない行動を通して、自身の理念を語っています。一部を抜粋し紹介します。

「…大学で学期末テストの監督をしていた私は、一人の4年生が席を立ち上がってから、また何か思い直して座る姿に気付きました。90分テストでしたが、60分経ったら、書き終えた人は退席してよいことになっていたのです。

座り直したこの学生は、やおらティッシュを取り出すと、自分の机の上の、消しゴムのカスを集めてティッシュに収め、再び立ち上がって目礼をしてから教室を出ていきました。

私は教壇を降り、その人の答案に書かれた名前を確かめたように覚えています。嬉しかったのです。ちょうどその頃（今もそうですが）、教えている学生たちと、「面倒だからしよう」という、ちょっとおかしい日本語を合言葉にしており、この4年生は、それを実行してくれたのでした。

『生きる力を育てる』ということが、教育の世界で叫ばれています。このむずかしい社会を生き抜くために大切なことなのですが、“よりよく”生きる、“人間らしく”生きる力でなければいけないのではないのでしょうか。…中略…

したくても、してはいけないことはしない。したくなくても、すべきことをする。自由の行使こそは、人間の主体性の発現にほかなりません。

消しゴムのカスをそのままにしておくのも、片づけて席を立つのも、本人の自由です。しかし、よりよい選択ができる人たちを育てたい。安易に流れやすい自分と絶えず闘い、面倒でもする人、倒れてもまた起き上がって生きてゆく人を育てたいのです。」

「面倒だから、しよう」は心の充足感という生きる糧を生む合言葉かもしれません。

横着者の私（西村）は、図書棚でこのタイトルに「おいおい、お前に言っとんで」と呼び止められました。



6月11日の参観日中止に伴い、PTA専門部会、学年支会等が開催できず申し訳ありません。後日、PTA専門部ごとに、部会の開催や活動に関する連絡を差し上げる予定です。

1年生 岡山県健康の森学園支援学校交流会

1年生は5月26日（水）、岡山県健康の森学園支援学校中等部の生徒との第1回交流会を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への配慮をし、お互いの学校からリモートでの交流となりました。自己紹介や学級の紹介をした後、共同作業となる栽培用ポットへの土入れを行いました。本校生徒は、支援学校から配信される動画で作業手順を確認し、外で土入れに取り掛かりました。作業中も互いの様子をリモートで見ることができ、カメラに向かって土入れを終えたポットを見せたり、感想を言ったりしました。作業後のポットおよそ300個には、後日、支援学校の生徒が苗を植え、育てていきます。そして、生長した苗はいろいろな場所に届けられ、その場所を明るく美しく彩ることでしょう。岡山県健康の森学園支援学校の皆さんありがとうございました。



作業中もリモートで会話

通知表学習評価 観点は3観点に

4月に保護者の皆様へ文書でお知らせいたしましたが、今年度から中学校の通知表等の評価の観点が変わります。新しい観点は次の3観点です。

【知識・理解】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】
このうち、「主体的に学習に取り組む態度」について改めて評価の側面をお示しします。

①知識・技能習得や思考力、判断力、表現力を身に付けることに向けた粘り強い取組。

②自らの学習の調整（試行錯誤等）。

評価場面は、“日頃の授業での活動” “授業の振り返りでの記述や発言等”

“家庭での学習課題（自学を含む）への取組” “各テストの状況”などです。

評価の目的は、生徒の主体的な学習への客観的な課題認識と自信の醸成
そして、教師の授業改善につなげることにあります。



6月 下校バスと主な行事



日	曜	発時刻	行 事	日	曜	発時刻	行 事
1	火	16:20	テスト週間	10	木	17:40	いじめを考える集会
2	水	14:50	専門員会・職員研修	11	金	18:00	スマホ・ケータイ安全教室
4	金	16:20	2・3年実力テスト	15	火	18:00	集金引き落とし日
7	月	13:40	期末テスト・いじめについて考える週間～6月13日	18	金	16:20	定時退庁日
				23	水	14:50	職員会議
8	火	13:40	期末テスト	25	金	18:00	花植え・環境整備
9	水	16:20	期末テスト	30	水	16:20	専門委員会